

## 問題〇〇5 推古朝と飛鳥文化② 大化の改新と白鳳文化①

01 608年の遣隋使には留学生〔<sup>たかむこのげんり</sup>高向玄理〕、  
学問僧〔<sup>あき</sup>阿曇〕や<sup>みなぶちのしょうあん</sup>南淵請安などが同行した。  
彼らは約30年後に帰国し、大化の改新に進言を行  
ったとされる。

02 遣隋使の最後は、614年の〔<sup>いぬがみのみたまき</sup>犬上御田鍬〕の  
派遣である。かれは最初の遣唐大使でもある。

### ●飛鳥文化

03 美術史上、6世紀末から7世紀前半の〔<sup>推古</sup>推古〕  
天皇の時代の仏教文化を〔<sup>飛鳥</sup>飛鳥文化〕とよぶ。

04 飛鳥文化で渡来人の果たした役割は極めて大  
きい。百濟の僧の〔<sup>かんろく</sup>観勒〕は暦を伝え、<sup>こうく</sup>高句  
麗の僧の〔<sup>ぶんちやう</sup>曇徴〕は紙・墨、絵具を伝え  
たとされる。

05 厩戸王(聖徳太子)は、法華經、維摩經、勝鬘  
經の注釈書である〔<sup>さんぎやうのぎしよ</sup>三經義疏〕を書いたと  
されている。

06 仏教を積極的に受容した崇仏派の蘇我氏の氏  
寺は〔<sup>あすかでら</sup>飛鳥寺〕、厩戸王がその根拠地の斑鳩  
の地に建立したのは〔<sup>法隆寺</sup>法隆寺〕である。

07 法隆寺金堂釈迦三尊像は、北魏様式の仏像で、  
仏師〔<sup>くらつくりのとり</sup>鞍作鳥〕の制作と伝わる。

08 工芸品としては、法隆寺の〔<sup>玉虫厨子</sup>玉虫厨子〕や  
須弥座絵が代表的である。

09 法隆寺は670年に全焼したとの記事が日本  
書紀にあり、〔<sup>わかくさがらんあと</sup>若草伽藍跡〕が発掘された  
ことで、法隆寺再建説が証明された。

10 足を組み、頬に指をあてた姿の半跏思惟像と  
しては、〔<sup>ちゅうぐうじ</sup>中宮寺〕と〔<sup>こうりやうじ</sup>広隆寺〕が有名で  
ある。特に広隆寺の半跏思惟像は国宝第〔<sup>1</sup>1〕  
号である。

### ●大化の改新(中央集権国家へ)

01 隋にかわって618年、〔<sup>唐</sup>唐〕が建国され  
た。

02 629年に即位した舒明天皇は、翌630年、第1  
回遣唐使として〔<sup>いぬがみのみたまき</sup>犬上御田鍬〕を派遣した。

03 皇極天皇の645年、中大兄皇子らは  
〔<sup>そがのいるか</sup>蘇我入鹿〕を暗殺し、その父〔<sup>そがのえみし</sup>蘇我蝦夷〕  
も自害に追い込んだ。この事件を〔<sup>乙巳の変</sup>乙巳の変〕  
という。

04 大化の改新と称される〔<sup>こうとくてんのう</sup>孝徳天皇〕の治世  
では、〔<sup>中大兄皇子</sup>中大兄皇子〕が皇太子、〔<sup>中臣鎌足</sup>中臣鎌足〕  
が内臣として実権を握った。646年、<sup>改新の詔</sup>改新の詔が発  
せられ、公地公民制への移行などの4か条が示さ  
れたが、当時は『郡』は〔<sup>評</sup>評〕と表記されて  
いたはず(701年の大宝律令で『郡』の表記に代わ  
った)ので、後世の偽作説もある。

05 この時期には東北地方への領域拡大も見られ、  
日本海側に〔<sup>ぬたりのき</sup>淳足柵〕、ついで〔<sup>いむふねのき</sup>磐舟柵〕  
が築かれた。つづく斉明天皇のときに東北・北海道  
に将軍〔<sup>あへのひらふ</sup>阿倍比羅夫〕が派遣され、多くの  
『異民族』を連れ帰ったという。

06 660年、唐・新羅連合軍により百濟が滅亡し、  
百濟復興をめざしたヤマト政権軍は朝鮮に進出し  
たが、663年、〔<sup>はくそんこう</sup>白村江の戦い〕で大敗した。

07 唐・新羅連合軍は668年、朝鮮東北部の騎馬国  
家〔<sup>高句麗</sup>高句麗〕を滅ぼし、676年には唐が撤退  
して新羅が朝鮮半島をはじめて統一した。

08 663年の敗戦後、中大兄皇子は、大宰府を防御  
するために水をたたえた〔<sup>みづき</sup>水城〕や、大  
野城などの〔<sup>ちやうせんしきやまじろ</sup>朝鮮式山城〕を築いた。

09 中大兄皇子は667年に畿外の〔<sup>おうみ</sup>近江〕  
〔<sup>おおつのみや</sup>大津宮〕に遷都し、翌年〔<sup>てんじてんのう</sup>天智天皇〕と  
して即位した。

10 668年には〔<sup>おうみりやう</sup>近江令〕とよばれる令がはじ  
めて制定されたとされる。670年には初めての戸籍  
である〔<sup>こうごねんじやく</sup>庚午年籍〕が造られたとされる。